■関西大学初等部・中等部・高等部の一貫教育

# 12年間の一貫教育ならではの



# 思考力の育成

初等部の特長の一つとも言える「ミューズ学習」。考える力の育成に特化したもので、開校 時から導入しています。1年次から6つの「思考スキル」を段階的に学び、自由に使いこなせ るよう、繰り返して取り組むことで、教科学習や総合的な学習の時間に加え、日常生活にも 活用しています。図書室(ライブラリー)のレイアウトも「ミューズ学習」に合わせ、辞書や新 聞、百科事典等の使い方や「ミューズ学習」の学び方を知る「はてな館」、絵本や物語を中心 とした「わくわく館」の構成になっています。また、授業には「STEAM」の視点を取り入れ、 教科横断的な学びを展開し、児童の論理的、批判的思考力の涵養につとめています。

中等部では独自科目「考える科」を通して、考えることを科学し、幅広いテーマを扱いなが ら考えることを楽しみます。考える方法を「一つの視点で深く掘り下げる(垂直思考)」と「多



面的な視点で発想を広げる(水平思考) | ととらえ、最終的には自分の存在を自己分析させる力(メタ認知能力)の獲得を目指します。 高等部では「プロジェクト科目」を設定し、「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」(文部科学省)\*で指定を受けた取組をさ らに充実させています。これにより、自ら課題を発見し、論理的な思考力や手法に加え、自身の興味関心により、真理を深めよう とする態度を身につけ、大学進学後だけではなく、将来、必要となる問題解決能力を養います。

※2014~2018年度の5年間。現在はSGHネットワーク参加校として認定。



▲理系&文理融合の人材育成のための「STEAM教育



▲研究テーマに基づいて調査を行う中等部の奈良フィールドワーク ▲研究成果の集大成となる高等部の卒業研究発表



# 教育プログラム

#### 国際理解教育の充実

初等部ではモジュール学習の時間を活用し、1、2年次は毎朝15 分間、楽しく英語に触れる機会を設け、英語の音声に慣れ親しんで いきます。3、4年次では週3時間、5、6年次では週4時間の授業 を通して、英語でのやり取りだけではなく、段階的に読み書きの能 力を身につけていき、6年次の海外研修旅行で実際に活用します。 また、外国の人々と直接または間接的に交流することで、異文化理 解、国際協力等に取り組みます。

中・高等部では、英語力を実践的に活用する場として、海外研修 やターム(学期)留学、短期交換留学などのプログラムを用意。海外 の学校との交流を通して、語学力の向上と多文化共生時代に必要な 資質、能力、態度や技術の育成に取り組みます。高等部の探究学習 でもグローバルな社会課題やビジネス課題に取り組むことにより、 グローバルリーダーとして活躍できる人材の育成をめざしています。









### ICT機器の活用

初・中・高等部では開校時からICT機器を活用。先のコロ ナ禍でも遠隔授業にスムーズに移行することできました。

初等部では、コンピュータやタブレットを活用し、情報を整 理・収集する力、批判的にみる力、創造力、表現力等を養う情 報教育を進めており、Apple Distinguished School (2018~ 2021、2021~24)にも認定されています。

中・高等部では、可視化による理解の促進や観察・実験の 結果の共有等のほか、録画から改善点を見出したり、協働学 習に利用したり、学校生活の様々な場面で活用されています。 また、発音矯正アプリや学習ログの分析など、生徒の理解状 況や能力に合った学び(学習の個別化)を支援するために活用 されています。









## 豊かな人間性の涵養

初等部では学年や学級の異なる児童たちが給食や縦割り活 動、集団下校等で触れ合い、交流を図ることによって、相互 に思いやり、人間関係をより深めています。また、2年次から の宿泊体験学習を通して、経験の幅を広げ、仲間づくりや異

文化交流などに挑戦します。 中・高等部では、合同で クラブ活動に取り組むほか、 学校行事を生徒スタッフが 自主的に運営することに よって、リーダー性と自主



▲初等部の異学年交流「縦割り活動



◆中等部・高等部吹奏楽部が 初等部生に向けて演奏する



百人一首大会で交流する 初等部3・4年生と中等部1年生